



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

8/31(月)～9/18(金)までの3週間
皆さんの先輩が教育実習生として来ています

友利なの先生

8/31(月)～9/18(金)までの3週間、
皆さんの先輩であり、生徒会長の伸之介さんのお姉
さんでもある「友利なの先生」が来ています。

教科は「英語科」、担当は翔太先生です。そのた
め、学級は1年A組に入ります。授業では1年生と
2年生を担当します。

玄関ホールの掲示板には、次のような自己紹介が
掲示されていましたね。

YOROSIKU

名前 Name

友利 なの

Please call me...

Nano

Suki food

Cheesecake potato



Natto



好きなこと、趣味

Play Sanshin
Make sweets

皆へのメッセージ!!

大学で学んだことを活かして授業をするのがとても楽し
みです! 皆と早く仲良くなりたいですし、たくさん関わり
ながら、学校現場でしか学べないことをたくさん吸収した
いです。これからよろしくお願いします!



自己紹介の内容から、なの先生
と英語でコミュニケーションをし
てみていいですね。

また、教育実習期間中には、大
きな行事の1つである「運動会」
があります。どんな活躍をするの
か、とても楽しみにしています。

なの先生(先輩)との出会いを通して、互いに成長
できる良い機会にしていきましょう!

9/1(火)は「防災の日」

災害時給食の提供

9/1(火)は、「防災の日」です。この日に因ん
でみだしの「災害時給食の提供」を下地学校給食共同
調理場(武井絵理さん)の企画で実施しました。

災害時給食提供の実施計画

企画者：下地調理場 武井絵理

概 要	
【日時】	令和8年9月1日 給食時間
【対象】	小中学校全児童生徒
目 的	
・災害時の食事を体験することで、「命をつなぐための食事」について理解する	
・災害時における備え等の必要性について理解すると共に、学校給食をとおして家庭への啓発を図る	
具体的な内容	
・ビニール袋を使用し、自分でおにぎりを作って食べる	
・乾物を使った献立の提供	
・災害時でも栄養価を補うための、手軽に食べられる健康的なスナック提供	
詳 細	
・「じぶんでつくるわかれごはんおにぎり」	
水が出ない災害時には、食器や箸を洗う水を節約するために、使い捨てができるビニール袋に直にご飯を入れたり、茶わんにラップを敷いて水をなるべく使用しないなどの工夫が必要	
・「切り干し大根スープ」	
カルシウム、鉄分、食物繊維など栄養価が高い上に、常温で長期保存が可能な乾物を活用	
・「マカロニサラダ」	
自宅に常備しやすい乾麺(マカロニ)を活用	
・「こざかなアーモンド」	
カルシウムやDHA、EPAを含む小魚と、ビタミンEや不飽和脂肪酸が豊富なアーモンドの組み合わせは、健康をサポートするための強力な味方	
特記事項	
災害時に活用できる食材・献立を「生きた教材」として活用することで、もしもの時への備えとして理解するとともに、「食べ物への感謝の心」を育みながら、子どもたちが災害時の心構えを身につけ、防災に対する理解を深めることを期待します	
参考資料	
【「じぶんでつくるわかれごはんおにぎり」】	
※水で食器や手が洗えない状況 を想定し、各自ビニール袋で おにぎりを作りましょう  →  → 	
1人1枚ビニール袋 を使用	ビニール袋に ごはんを入れる
	袋の上から おにぎりをのせる

☆「災害への心構え」「食べ物への感謝の心」を忘れ
ず、防災に対する理解を深めていきましょう。

8/28(金) 小中PTA、学校三師を招き

「下地小中合同学校保健委員会」 を台湾交流室で開催



8/28(金) 16:00～16:45、台湾交流室を会場にみだしの「下地小中合同学校保健委員会」を開催しました。

本委員会のねらいは、「下地中学校区の児童生徒の健康・安全について協議し、健やかでたくましい体力づくりに寄与する。また、学校三師・学校職員・保護者代表などが連携し、子どもたちが心身ともに健康で安全な生活が送れるよう学校保健安全の諸問題について検討・協議し、今年度の活動に繋げる」です。

各学校の定期健康診断や保健室来室状況、健康・安全関連の行事・取組(1学期)、保健行事と児童生徒保健委員会の取組などを共有し、成果と課題・対応策などを検討・協議いたしました。

来校していただいた小学校の先生方、指導助言をいただいた学校歯科医の波平真樹先生、ありがとうございました。

【お知らせ】

「9月の生活目標」を確認しましょう。

よりよい生活態度の 確立を目指そう

☆集団での行動は遅れないようにしよう！



☆上級生を敬い、下級生の面倒をきちんとみるようにしよう！

☆場に相応しい身なりを心がけよう！

◎先日、沖縄タイムスの記者が来校し、「台湾国際交流」についての取材を行いました。その取材記事が、9/2(水)に掲載されましたので、紹介いたします。↓↓↓

第3種郵便物認可



下地中の9人が 台湾で国際交流

【宮古島】宮古島市立下地中学校の生徒9人が8月14～19日、台湾台中市の漢口国民中学校を訪問し国際交流を楽しんだ。現地ではホームステイして学校で授業を受け、観光地も訪れた。引率した教員は「自分の気持ちをしつかり伝えようという生徒の変化を感じた」と手応えを語った。
(宮古支局・又吉健次)

宮古から台中を訪問

台湾国際交流は、下地中の元保護者で台湾出身の羽地芳子さん(72)の子どもが同校に通っていた1999年に始まった。下地中からは毎年、漢口中からは隔年で互いの地域を訪問し、ホームステイや学校での歓迎式に参加している。今回、下地中からは2、3

④漢口中で、沖縄での交流の様子を報告する下地中の生徒たち⑤バスケットボールを楽しんだ下地中と漢口中の生徒たち＝8月17日、台湾台中市(下地中提供)

多言語で意思疎通 バスケットや授業楽しむ

3年の下地瑛太さんは、タピオカや小籠包などおいしい台湾料理が印象に残った。「英語を覚えようという気持ちになった。日本と違う国があるんだ」と振り返った。
仲間教頭(50)は台湾について学び、積極的にコミュニケーションを取ろうという生徒の意識を感じたという。「日本と違う建物や風景に香り。想像以上のものを感じて、世界を見る目が広がったのかな」と喜んだ。

生徒たちは沖縄で受け入れた台湾の中学生宅に3連泊してホストファミリーと一緒に食事。自由行動の日には美術館や夜市、ショッピングセンターを巡るなど観光も楽しんだ。互いに片言ながら英語や中国語、日本語で意思疎通した。
台湾の高い建物に圧倒された生徒たち。2年の川平玲愛さんは「台湾は日本よりもめっちゃ都会だった。質問されたら反射的に英語で話さようになったし、もつとこんな国に行きたくなった」と語った。

年が参加。漢口中ではバスケットボールで汗を流した後、授業に加わった。沖縄と台湾との距離や面積、漢字の成り立ちを学んだほか、ジェスチャーゲームで盛り上がった。



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェーブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

「2学期始業式」の中で注意したこと

自分の身は自分で守る!

2学期始業式で皆さんに注意したことを覚えていますか?そして、先日、生徒指導担当の勉先生が連絡していたことを覚えていますか?

この話題の共通点は、みだしの「自分の身は自分で守る!」です。

2学期が始まり、子どもたちの元気な登下校の姿が学校に戻ってきました。学校では「集団登下校」を呼びかけています。これは単に友だちと一緒に登下校をするためではなく、通学路の危険箇所を確認し、安全な行動を身に付けるための大切な学びの機会だと考えるからです。そして、友だちと声を掛け合いながら歩くことは、防犯や事故防止にもつながります。

それでも、私たちの周りにはさまざまな危険が潜んでいます。近年、自転車の交通ルールが厳しく見直され、スマートフォンを見ながらの運転や傘を差しての片手運転などには反則金が科される「青切符」の対象となります。また、ヘルメットの着用が奨励されたり、生活道路では時速30km制限の取組もスタートしたりしています。ルールは取り締まりのためではなく、皆さん一人ひとりの命を守るためにあることを忘れてはいけません。また、登下校中の子どもが車に連れ込まれるわいせつ事件や、声かけ事案が後を絶ちません。「知らない人について行かない」「一人きりにならない」「危険を感じたら逃げる、助けを求める」といった

いらない



のらない



おおごえでさけぶ



すぐにげる



しらせる



基本行動が自分を守ることにつながります。

地域では野犬による山羊への襲撃被害が報告されています。野犬は人への危害につながる可能性もあります。見かけたときは近づかず、すぐに大人へ知らせることが大切です。



さらに宮古島では観光客の増加に伴い、レンタカーも増えていきます。土地勘のない運転者による急な停止や右左折など、予測しにくい運転に遭遇することもあります。「車が止まるだろう」ではなく、「気付いていないかもしれない」と考えて行動する習慣が事故防止にもつながります。

学校や家庭、地域が力を合わせて子どもたちの安全を守っていきます。しかし、最後に自分の命を守るのは自分自身です。「集団登下校」での学びを普段の生活にも生かし、危険を予測し、正しく判断し、行動できる力を身に付けてほしいと思います。

「自分の身は自分で守る!」

この意識を一人一人が持ち、安全で安心な毎日を過ごしてほしいと願っています。

【宮古島】宮古島市で今年に入り、家畜のヤギ約60頭が野良犬に噛まれる被害が起きていたことが分かった。例年はほとんど事例がないという今年には突如、ヤギ農家や市は「家畜への被害がエスカレートし、子どもなど人間が襲われるか」と懸念を強める。

宮古島 3頭の柵突破

「人が襲われないか」懸念

市などへの被害通報は今年3月29日だが、組合の聞き取りでは約60頭に上り、ほとんどが死んだ。市内では昨年未時点841頭が飼育されており、その7%に当たる。大嶺太亮組合長は「農家が飼育する気持を失い、ヤギ産業が衰退しないか」と心配する。

会議では、最大で15匹ともいわれる三つの群れがあり、野良犬に囲まれた大人もいたとの情報を共有した。今後は柵の設置場所の検討や、野良犬をゼロにするために最後まで飼いつける意識の啓発などを行っていく方針だ。(宮古支局・又吉健次)

野良犬がヤギ60頭襲撃

9/4(金)4校時 1年生「総合学習」

ことばでつながる 世界とわたしたち
～身近な疑問から世界を考える～

東京大学 阿古教授と留学生(ゼミ生)を招いて

9/4(金)4校時、1年生の合同授業(総合学習)で、みだしの「ことばでつながる 世界とわたしたち ～身近な疑問から世界を考える～」を、東京大学 阿古智子教授と大学生(留学生)を招いて実施しました。

ねらいは、「身近な疑問を手がかりに、大学生との対話を行い、多様な見方や考え方に触れながら、自分と社会や世界とのつながりに気づき、今後の探究につながる課題意識をもつことができるようにする【道徳の関連項目 A(5)心理の探究・創造、B(9)相互理解・寛容、C(18)国際理解・国際貢献】」でした。

ここで講師として本校にいらっしゃった阿古智子教授について紹介をします。

【阿古 智子】

東京大学大学院総合文化研究科教授。専門は、社会学と中国研究で、現代中国の政治や社会変動を主な研究対象にしている。主な関心は、中国社会の変化、市民社会の動き、香港、移民や社会的に弱い立場の人々に関するテーマなど。近年は、中国や香港における人権や公共空間にも注目している。大阪外語大学と名古屋大学大学院を経て、香港大学では博士号を取得している。在中国日本大使館の専門調査員や早稲田大学准教授などを経て、東京大学では2013年に准教授、2020年4月、教授就任。



阿古教授によれば、留学生の母国は「中国・香港・台湾・マレーシア・タイ」と紹介をしていました。

交流学習では、中学生と大学生がグループに分かれ、学校生活や日常の言葉、文化、歴史などについて意見交換をしました。言葉が通じない場面では、留学生のスマホ翻訳アプリを活用して伝え合う様子が見られました。

この交流学習は、身近な疑問を手がかりに、中



学生と大学生が対話を重ね、多様な見方や考え方に触れることで、身近な生活と国際社会とのつながりや探究学習につなげることを目的に行いました。

交流学習を振り返りとして阿古教授は、「多様な人たちとの交流を深めて視野を広げる機会とすることができた。これからも国を越えて互いの思いや考えを積極的に意見交換することを通して、国際問題や平和教育を一人一人が思考できるようにしてほしい」と述べてくれました。

【お知らせ】

☆8/29(土)・30(日)、伊良部島小中学校で行われた「第43回宮古地区1・2年生バレーボール大会」の結果を報告します。

【女子】1年生「準優勝」

1年生 下地 2-0 城東・鏡原

決勝 下地 0-2 ZUMI CONNECT

2年生 下地 0-2 ZUMI CONNECT

3決 下地 0-2 北

【男子】

1年生 下地 0-2 M.D.T 宮古

下地 0-2 平良・伊良部島

2年生 下地 0-2 鏡原

☆9/4(金)から、新しいALTのネイト先生が来ています。自己紹介はこちら。

Hello. My name is Nathanael Peverill, but please call me Nate. I am from United States of America. My state is Virginia. I am 33 years old. I like hiking, Listening to music, and reading books. This is my first time in Okinawa, and I am so excited to meet all the students at Shimoji Junior High School. Nice to meet you!



☆9/4(金)夕方、「親子環境整備」と、「PTA常任委員会」を行いました。運動会の成功に向け、ご理解とご協力をお願いします。

☆9/5(土)午後、未来創造センターで行われた「第41回沖縄県少年の主張宮古地区大会」に3年の奥平絢音さんが出場しました。結果は「優秀賞」でした！そして同日、宮古島市役所で行われた「第61次本土派遣豆記者体験・取材報告会」では、豆記者を体験した2年生の丸田青葉さんが堂々と報告を行いました。





となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

**よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成**

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

明日は「9月11日」

「9・11」を忘れない

2001年9月11日、アメリカで同時に発生した多発テロ事件、いわゆる「9・11(ナイン・イレブン)」から、長い年月が経過しました。生徒の皆さんにとっては、自分が生まれる前の「歴史上の出来事」かもしれません。しかし、相次ぐ航空機の激突により約三千人もの尊い人命が一瞬にして奪われたあの日、世界を駆け巡った衝撃と深い悲しみは、今なお人々の記憶に強く刻まれています。



なぜ今、私たちは遠い国で起きた過去の出来事を振り返り、「忘れない」と心に誓うのでしょうか。それは、平和というものが決して当たり前で存続するわけではなく、私たちがたえず関心を持ち、努力し続けなければ容易に崩れ去ってしまうことを、この事件が痛烈に教えているからです。



現在、世界を見渡すと、平和を脅かす暴力や緊張は途絶えることがありません。ウクライナでは多くの人々の平穏な日常と尊厳が奪われる凄惨な侵攻が今も続き、イランをはじめとする中東地域でも深刻な軍事摩擦や紛争が拡大しています。さらに、私たちが暮らす東アジアにおいても、台湾有事をめぐる懸念など、安全保障上の緊張が高まりを見せています。

こうした複雑な国際情勢に向き合うとき、私たちに何より求められるのは、単一の価値観にとらわれない多面的・多角的な視点を持つことです。国家間の紛争やテロ行為の背景には、双方の歴史的経緯や宗教、文化、経済的利害、さらには地域固有の政治情勢など、複雑な要因が幾重にも絡み合っています。一方の情報や過度な感情論だけに惑わされず、「なぜこのような対立が生じたのか」「立場が異なる人々はどうのような歴史や思いを抱えているのか」を多

角的な視点から冷静に学び、理解しようと試みることが不可欠です。



この「多角的な視点」と「対話の姿勢」は、私たちが過ごす毎日の学校生活や地域での関わりの中でも極めて重要です。自分とは異なる意見や価値観を持つ友達に出会ったとき、自らの価値観だけを絶対視して相手を排除するのではなく、相手の背景に思いを馳せ、対話を重ねること。それこそが、身近な摩擦を防ぎ、違いを認め合って共に生きる社会を築く確かな第一歩となります。

朝、「行ってきます」と家を出て、校舎で仲間と学び、笑い合い、夕方に「ただいま」と無事に帰宅する。私たちが当たり前のように繰り返している日常は、極めて尊く、かけがえのないものです。世界の平和も、私たちが過ごす教室での小さな思いやりと相互理解の積み重ねから始まっています。



「学校だより『となん』」の名が示すように、南の空へと大きく羽ばたく翼を持つ下地中学校の生徒の皆さんには、広い視野を持って世界を見つめ、複雑な社会課題の本質を見極める力を身につけてほしいと願っています。過去の歴史と現在の世界情勢から学び、命の重みと平和の尊さを考え続けること。「9・11を忘れない」という誓いを胸に、多様な人々が手を取り合える平和な未来を、皆さんの手で築いていきましょう。



「9・11」に関する映画もあります。機会があればぜひ家族で鑑賞してみましょう。

9/13(日)運動会まで「あと3日」

『第79回運動会』
を成功させよう！

「第79回下地中学校運動会」が開催が近づいてきました。今年のスローガンは、「飛躍一閃 ～全力を尽くし、光を放て!!～」です。

私は、このスローガンに下地中学校生徒一人一人の思いや願いが込められていると感じています。

「飛躍」とは、これまでの自分を超越て大きく成長することです。「一閃」とは、一瞬にして放たれる鋭い光のことです。運動会当日、全校生徒が全力を尽くし、それぞれの持つ力や個性を輝かせてほしいという願いが、この言葉に込められているのではないのでしょうか。

練習期間中には、思うようにいかないこともあったことでしょう。でも、失敗や困難を乗り越えながら仲間とともに努力する過程こそが、皆さんを大きく成長させてくれます。互いを認め合い、励まし合いながら取り組むことで、学級や学年、そして学校全体の絆も深まっていくはずです。

また、運動会は学校だけの行事ではありません。保護者の皆様や地域の皆様にも支えられながら実施される大切な行事です。今年は給水タイムに加えて軽食タイムを設けるほか、「PTA特技」や「同窓リレー」も復活し、学校・家庭・地域が一体となる運動会を目指しています。多くの方々の支えがあって運動会が実施できることへの感謝の気持ちも忘れないでほしいと思います。

本番で大切なのは、「勝ったか負けたか」だけではありません。競技や演技、応援、係活動など、自分にできることに最後まで全力で取り組んだかどうかです。そして、仲間とともに「やり切った」と胸を張って言えることが何よりも大切です。

運動会当日は、全校生徒一人一人がスローガンの達成者となり、自分だけの「光」を放ってくれることを期待しています。「飛躍一閃 ～全力を尽くし、光を放て!!～」この言葉を胸に、下地中学校みんなの力で、最高の運動会を創り上げましょう。

【お知らせ】 ☆先日、右の新聞記事のイベントに行ってきました（息子が地謡で参加していたので）。「下地のヨンシー（洲鎌・上地・与那覇の三部構成）」は、圧巻でした。ぜひ、運動会や中文連で披露できるといいですね！

首里城復興 芸能で祝う

記念事業 宮古公演で開幕

【宮古島】首里城土城復興記念事業宮古公演「世や直れ」が8月22日、宮古島のイトイ女市民劇場で行われた。祝いの場で歌われる「とつがにあやぐ」の斉唱や、多良間の豊年祭の樽屋寿屋踊りなどが披露され盛り上がった。

主催する県文化協会の與那嶺綾也会長は「7カ所で行われる事業が宮古で華を開く」とも話した。共催で市文化協会の平良雅也会長は、首里土城が宮古に課した人頭税について触れ「複雑な思いの人々もいるだろう。宮古の芸能を築いた先人への感謝を込めて開催したい」と挨拶を述べた。

国風を基盤に作る「国風やばい」が基になっている下地地区のヨンシーでは、洲鎌・上地の同好会と与那覇保存会が出演。息の合った力強い舞に大きな拍手が送られた。（宮古支局・又田健次）

会場を盛り上げる与那覇ヨンシー保存会＝8月22日、宮古島市・イトイ女市民劇場

